

シルバーだより はむら

第143号

編集・発行



公益社団法人
羽村市シルバー人材センター

東京都羽村市羽東2丁目3番1号

電話 042(554) 5131

FAX 042(555) 8714

ホームページ：<https://webc.sjc.ne.jp/hamura>

E-mail：hamura@sjc.ne.jp

会員数（令和3年9月末現在）

男：392名 女：220名

計 612名

40周年記念号



公益社団法人 羽村市シルバー人材センター
令和3年度定時総会・祝設立40周年





設立 40 周年を迎えて

公益社団法人
羽村市シルバー人材センター 会長 船 木 信 雄

当センターは昭和 56 年 4 月に羽村町高齢者事業団として設立され、本年で 40 周年を迎えることができました。

設立当初 142 人の会員数は、令和 3 年 3 月末現在 623 人（男性 400 人・女性 223 人）となりました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令を受け、入会説明会を中止せざるを得なかったことなどにより、前年より減少いたしました。会員の入会率では、都内の区市において引き続き上位に位置しております。

令和 2 年度の契約金額についても、コロナの影響により前年度より減少いたしました。約 2 億 4 千万円の実績をあげております。

これも偏に諸先輩方をはじめ、会員一人ひとりのたゆまぬ努力と温かく支えていただいた市民の皆様や企業各位、並びに羽村市、羽村市議会及び公益財団法人東京しごと財団、その他関係機関の方々のお力添えの賜物と心から感謝申し上げます。

さて、このような中で昨今の当センターを取り巻く環境の変化等を申し上げます。

一つは、超高齢化社会の中で定年延長や継続雇用の定着に伴う入会者の減少傾向です。センターへの入会年齢は 60 歳からですが、雇用年齢が 65 歳、70 歳へと上昇傾向にあり、特に 70 歳以下の入会者が減少しております。

二つ目は、設立 40 周年を迎え多様な記念事業を企画してはりましたが、緊急事態宣言の発令により、計画が頓挫し悶々の 2 年間です。

このような状況において、引き続き感染拡大防止に努めながら、事業を継続・拡大していくことが課題となります。こうした時期であるからこそ、地域ニーズに応え、就労やボランティア活動を通して、地域に貢献するよう、取り組んでまいりたいと考えております。

そのためには、コロナを含め感染症予防と同時に、会員一人ひとりの免疫力の向上と認知症予防にも効果的な「動く」「食べる」「閉じこもらない」を推進し、さらなる組織の活性化を図っていく所存であります。

なお、コロナ禍については、この事実をどう後年に残留記述するかも組織として重要であり、広報部会が中心となり、記録として作成し特集記事として掲載いたしましたので、後年に史実として活動に生かして欲しいと願っております。

最後になりますが、今後におきましても関係各位の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。会員皆様のご健康とご多幸を祈念して、ご挨拶といたします。



設立 40 周年を祝して

羽村市長 橋本 弘山

公益社団法人羽村市シルバー人材センターが設立 40 周年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。

日頃から、市の行政運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止やワクチン接種など、様々な場面でご協力いただいております。改めまして、お礼申し上げます。

前身の羽村町高齢者事業団を昭和 56 年 4 月に発足して以来 40 年、長きに渡り高齢市民への就業機会の提供や社会奉仕活動等を通じ、生きがいある暮らし、活力ある地域社会の発展に貢献してきていただいたことに、感謝を申し上げます。

公益社団法人に移行して 10 年、ますます活発な活動をされており、元気な高齢者が活躍する環境づくりに取り組んでいただいたことが、東京都の示す健康寿命においても、都内の自治体の中で羽村市が高い位置にあることの一翼を担っているものと認識しております。

また、高齢者人口の増加傾向は、市にとりまして、社会経験で培われた豊かな知識、すぐれた技術をお持ちの市民が増え力強いことと捉えており、市の発展のため皆様のお力を発揮いただきたいと期待を寄せています。

今後も羽村市といたしましては、高齢者が「地域社会を支える担い手」として、生涯現役でご活躍できるよう、就労をはじめ生涯学習など様々な分野で活動できる環境づくりに努めてまいります。

結びに、羽村市シルバー人材センターのますますの発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



設立 40 周年を祝して

羽村市議会議員 中嶋 勝

公益社団法人羽村市シルバー人材センターが、発足 40 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴センターは、昭和 56 年 4 月に会員 142 人で発足され、現在では 600 人以上の方が活動されています。

また、昨年からのコロナ禍で活動に大きな影響を受ける中、地域に根差した活動を続けられたことに、役職員の皆様をはじめ、会員の方々並びに関係各位のご理解とご尽力の賜物と心から敬意を表します。

高齢化社会と言われて久しい今日、健康で働く意欲のある高齢者の方々が就業や社会奉仕活動などを通じて、生きがいある生活を送るために、シルバー人材センターは大変大きな役割を担っています。

今後とも貴センターが「自主的・主体的組織理念」と「共働・共助の事業理念」に基づき、さらに飛躍され、高齢者就業の拠点としてご活躍されるよう願っております。

市議会といたしましても、高齢者福祉施策の一層の充実を図り、だれもが生きがいを持って、いつまでも地域社会で暮らし続けられるまちづくりのため、努力してまいります。

終わりに、公益社団法人羽村市シルバー人材センターの益々のご発展と関係者各位のご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

設立 40 周年を祝して

第6代会長 高山 繁 寿
(H21.4.1 ~ H25.6.21)



設立40周年おめでとうございます。

いろいろな困難をのり越え、この日を迎えられたこと、長い間本当にご苦労様でした。

これも、ひとえに40年の間、格別なご支援・ご指導をいただきました羽村市及び東京しごと財団を始めとする関係機関と、市民の皆様や協力企業各位のご理解とご協力のおかげだと思えます。

そして何より大きかったのは、就業の仕方の変更、助成金の減少、会員の伸びなやみ、受注の減少等の困難の中、それを乗り越え、活動を続けて来られた、関係役員の皆様、全ての会員の皆様、そして事務局の皆様のたえまない努力で、しっかり守り発展させてきたことが一番だと思います。

いろいろなことが、これからも出て来ると思いますが、女性部会の活動や地域班の活動等伝統的な強さを生かし、五十年、六十年を目指し、会員皆で、市民の皆様から、愛され、頼られる人材センターに成長されることをお祈り致します。

設立 40 周年を祝して

第8代会長 安達 健 吾
(H27.6.19 ~ R1.6.25)



設立40周年おめでとうございます。

入会した年を忘れるほど遠い昔に入会させていただき、今は好きな住宅の単リフォームなど手掛けさせて頂いております。

シルバーでの私のスタートラインは清掃作業でした。前職から退き、何をしようかと考えている時にシルバー人材センターの「無料清掃講習」があるのを知り、飯田橋の東京しごとセンターに一週間ほど弁当持参で通い始めました。講習では知らないことを多く教えて頂き、入会後に就いた清掃作業に大いに役立ちました。特に、清掃の順序が前後すると時間ばかりかかって余り上手くいかないことなどとても参考になりました。清掃は嫌いという人が多いようですが、清掃完了後の爽快感は素晴らしいものです。

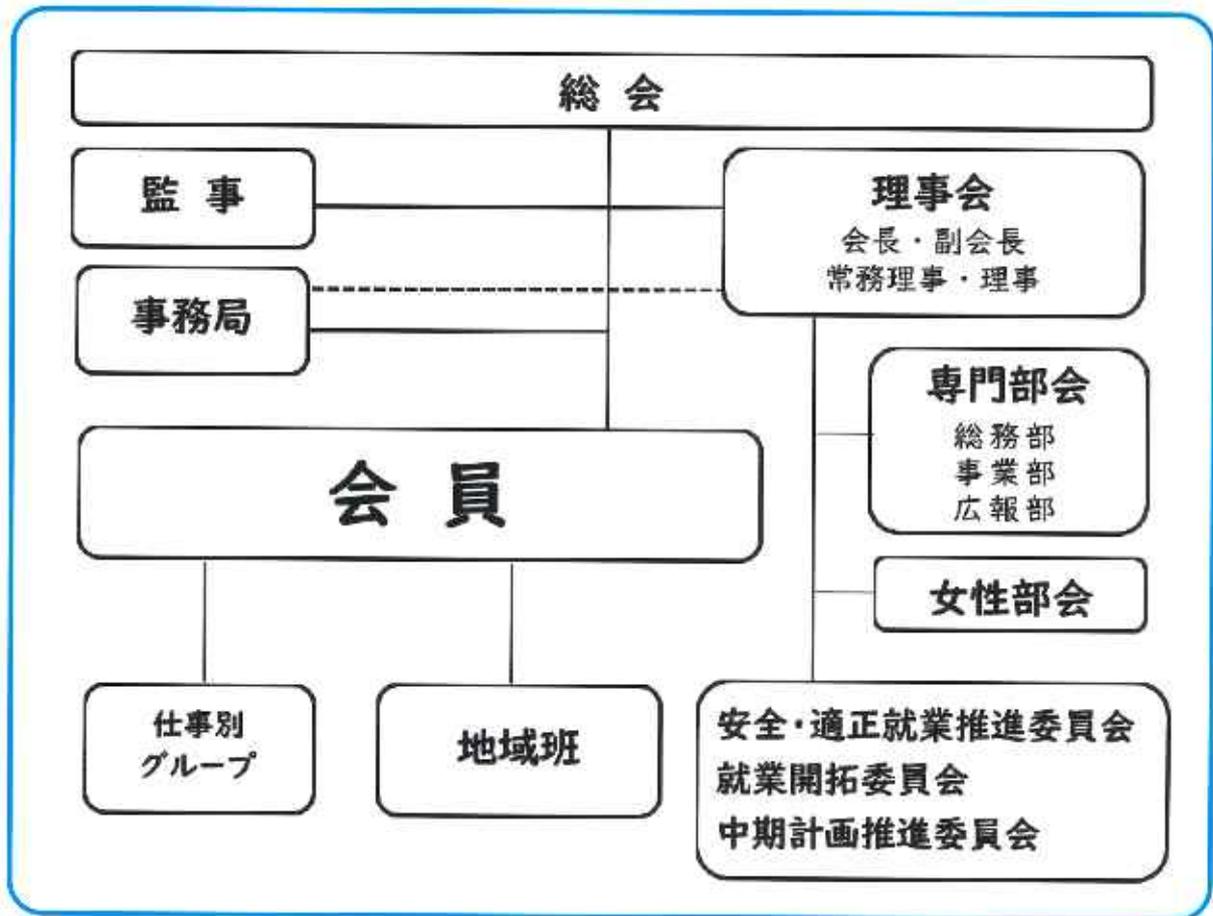
清掃に限りませんが、講習会に参加して新しい技法を学べば仕事仲間やお客様から信頼を得て業務も継続できるというものです。

シルバーでは「経験ないけど適当にやっておけばよい」等の考えは通用しません。

現在は、元気な高齢者が多くいらっしゃいます。自分の得意分野を作って、取り残されないよう頑張らしましょう。

設立40年の羽村市シルバー人材センターが、仕事で市民の皆様の信頼を得、働く意欲ある高齢者の為に発展されることを願っております。

シルバー人材センター組織図



地域割会員数

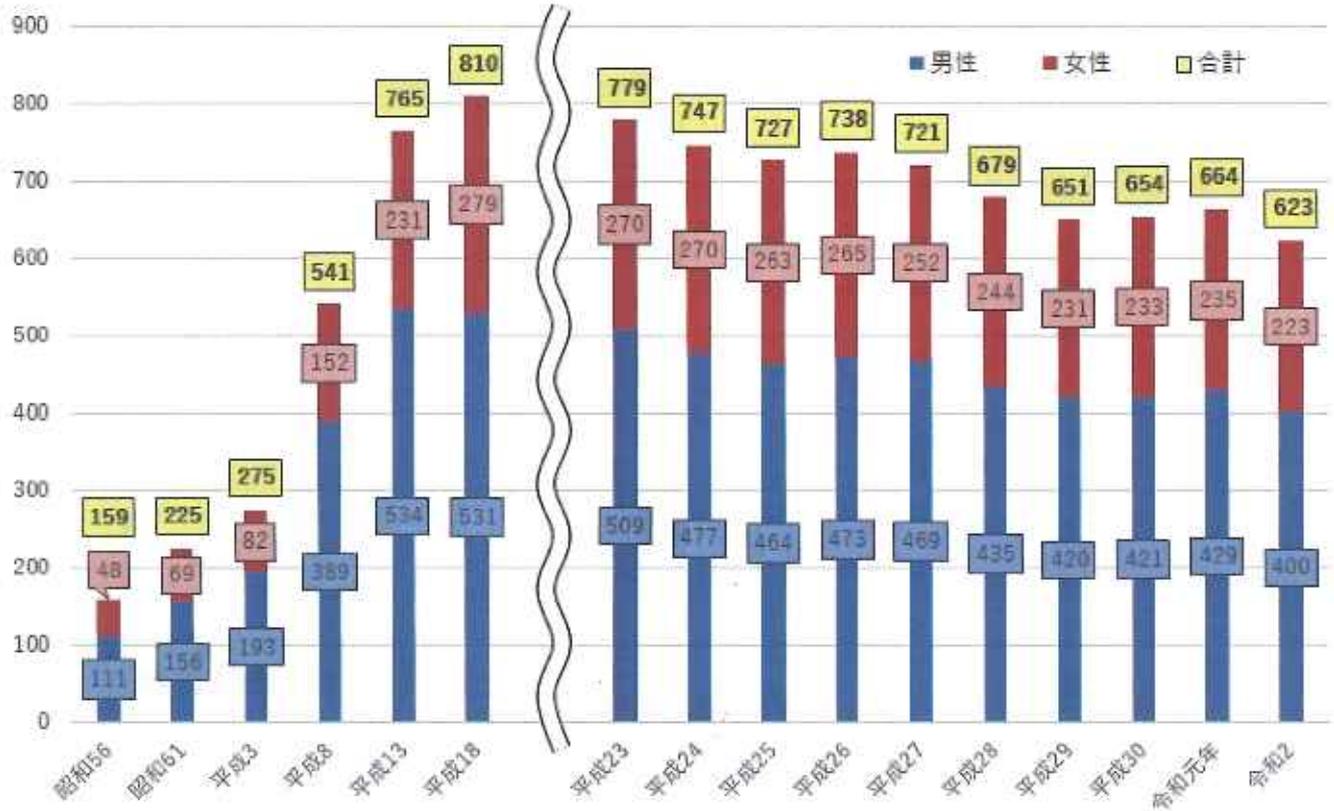
(令和3年3月31日現在) (単位:人)

| 班 | 地域 | 会員数 | | |
|----|-------------|-----|-----|-----|
| | | 男性 | 女性 | 合計 |
| 1班 | 神明台・双葉町 | 95 | 54 | 149 |
| 2班 | 川崎・羽東・玉川・清流 | 38 | 35 | 73 |
| 3班 | 羽中・羽加美・羽西 | 83 | 26 | 109 |
| 4班 | 小作台・栄町 | 74 | 37 | 111 |
| 5班 | 緑ヶ丘 | 48 | 27 | 75 |
| 6班 | 五ノ神・富士見平 | 62 | 44 | 106 |
| 合計 | | 400 | 223 | 623 |



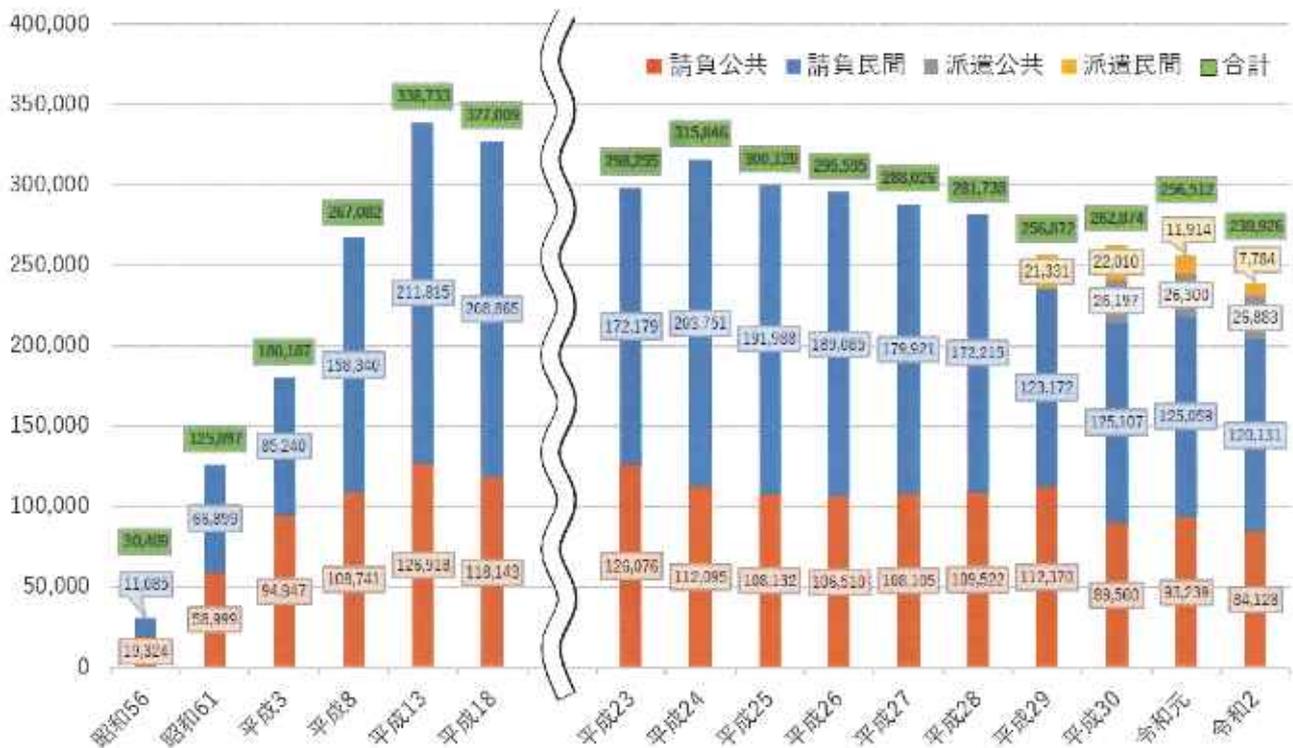
事業実績

年度末会員数推移



(単位：人)

年度別契約金額



(単位：千円)

設立後のあゆみ

| 年号 | 年度 (和暦) | 年度 (西暦) | 月 | 内 容 | 備 考 |
|----|------------|------------|--|---|------------------------------|
| 昭和 | 56 | 1981 | 4 | シルバー人材センター羽村町高齢者事業団が発足 | |
| | 57 | 1982 | 11 | 社団法人として法人格を取得する | |
| | 63 | 1988 | 4 | 「総務部会」、「事業部会」、「広報部会」の3専門部会を設ける | |
| 平成 | 2 | 1990 | 7 | 「社団法人羽村町シルバー人材センター」に名称変更 | 東西トイツ統一 |
| | 3 | 1991 | 11 | 市制施行に伴い「社団法人羽村市シルバー人材センター」に名称変更となる | ソビエト連邦破壊 |
| | | | 3 | センター新事務所の開所式を行う 第19回定期総会・設立10周年記念式典 | |
| | 4 | 1992 | 7 | 植木班等の「職群班」を編成する | |
| | | | 9 | 第1回「シルバーはむらふれあい祭」を開催（約800名の参加） | |
| | 6 | 1994 | 8 | 第1回「多摩川河原清掃」のボランティア活動を行う。（参加者90名） | |
| | 8 | 1996 | 9 | 第28回定時総会・設立15周年記念式典 | |
| | 9 | 1997 | 11 | 羽村市産業祭でシルバー人材センターのPR活動を行う | 長野五輪開催 |
| | 10 | 1998 | 10 | 「生花教室」「補習教室」始まる | |
| | | | 3 | 平成10年度決算において契約金が3億円を突破 | |
| | 12 | 2000 | 3 | 全国の5万人以上10万人未満の都市での入会率が全国1位になる（7.2%） | |
| | 13 | 2001 | 4 | 地域班が発足する | アメリカ同時多発テロ発生 愛子さま誕生 |
| | | | | 「パソコン教室」始まる | |
| | | | 5 | 羽村市シルバー人材センターホームページを設置する | |
| | | 9 | 第38回定期総会・設立20周年記念式典開催 | | |
| | 15 | 2003 | 5 | 女性部会が発足する（家事援助班・手芸班） | |
| | 18 | 2006 | 11 | センター駐車場の増設を行う | 第1回東京マラソン開催 |
| | 19 | 2007 | 10 | 「着付け教室」始まる | |
| | 22 | 2010 | 4 | 「リサイクルショップ」事業を開始する | 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還 東日本大震災 |
| | | | 9 | 平成22年度臨時総会を開催（公益社団法人移行後の役員就任予定者を承認等） | |
| | | | 3 | 東京都より公益社団法人として認定される | |
| | 23 | 2011 | 4 | 「公益社団法人羽村市シルバー人材センター」へ名称変更 | |
| | | | 6 | 平成23年度定時総会・設立30周年記念式典を開催 | |
| | 24 | 2012 | 4 | 「リサイクルショップ」事業を開始する | 東京スカイツリー開業 |
| | | | 8 | 「包丁研ぎ（刃物研ぎ）」事業を開始する | |
| | 25 | 2013 | 6 | 市内「登校児童見守りボランティア」活動を開始する | 富士山 世界文化遺産に登録 |
| | 26 | 2014 | 9 | 「ワンコインサービス事業」を開始する | |
| | 27 | 2015 | 4 | 「絵手紙教室」始まる | マイナンバー制度始まる |
| | | | 10 | 「ならし英会話（小学生5・6年生）」「英会話教室（一般向け）」始まる | |
| | 28 | 2016 | 2 | 羽村派遣事業所を開設し、シルバー人材センター一般労働者派遣事業を開始する | |
| 29 | 2017 | 9 | 女生会員による「園芸チーム」を立ち上げる | | |
| 30 | 2018 | 9 | 羽村市生活支援サービス事業（家事レポート）を開始する | | |
| | | 1 | 会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」を設置する | | |
| 令和 | 元 | 2019 | 1 | 「入会説明会用DVD」をリニューアルする（広報部会） | 新型コロナウイルス（COVID-19）を確認（1月） |
| | | | | フレイル予防体操始まる | |
| | | | 2 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各種教室等の事業を中止・延期・実施を検討する | |
| | | 3 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、理事会の決議を前面決議とした（R2.3～R2.5） | | |
| | 2 | 2020 | 5 | 全会員へマスクとマスク用取替え不織布シートを配布する | 緊急事態宣言発出（4月） |
| | | | 6 | 令和2年度定時総会を委任状や議決権行使書の事前集約により出席者を縮小して実施する | 東京五輪・パラリンピック延期決定 |
| 3 | 2021 | 6 | 令和3年度定時総会・設立40周年記念事業（表彰式）を実施する | 東京五輪・パラリンピック無観客で開催 | |
| | | 10 | 「スマホ講習会」始まる | 内閣にデジタル庁設置 羽村市市制施行30周年記念式典挙行 | |

※新型コロナウイルス感染症関連の詳細については、後述の特集記事をご覧ください。



自転車整理



羽村駅・小作駅周辺の駐輪場及び
放置自転車の撤去を行っています

植木剪定



4班体制で家庭・企業・公共施設の植木剪定を行っています

屋内清掃



市内事業所や工場等の日常清掃
を行っています

除草



3班体制で、庭の除草や市内公園等公共
施設の除草、落ち葉掃きを行っています

屋外清掃



市内公園トイレの清掃を行っています

家事援助



一般家庭の掃除、洗濯、料理等、
定期的に行っています



床面ワックスがけ



市内事業所等の清掃及びワックスがけを定期的に行っています

広報配布



毎月2回、市広報等を配布しています

襖・障子の張り替え



網戸の張り替え



内職



センター内でベアリングの組み立てを行っています

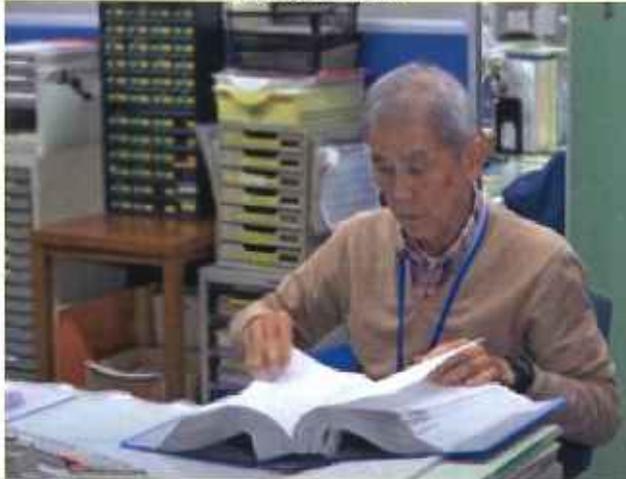
派遣就業（学校施設清掃）



市内小中学校の清掃及び施設の維持管理等を行っています



施設管理



市内公共施設の夜間の受付業務等を行っています

受付事務（シルバーパス）



センター内で、毎月初めの平日5日間に発行事務を行っています

毛筆筆耕



賞状や年賀状、ペナント等、丁寧に筆耕しています

包丁研ぎ



1本1本丁寧に研ぎます
毎月15日には、センター作業場で包丁研ぎを行っています

植木班



除草班





製作風景写真



リサイクルショップ「トコトン工房」 (リサイクルセンター内)



リサイクルセンターに持ち込まれた家具等を修理・手直しして、販売しています

編物製作



第1・第3金曜日に、編物を製作し販売しています

手芸品製作



毎週月・木曜日に、手芸品を製作し販売しています

マスク



コロナ禍により製作開始した「布マスク」「マスクカバー」は、令和2年度のヒット商品になりました



PR活動風景



羽村市産業祭 PR出展



シルバーはむら ふれあい祭り





英会話教室



毎週火曜日 午後2:00~3:30 (初級)
午後4:00~5:30 (上級)

着付け教室



毎月第1・3水曜日
午前10:00~12:00

学習教室



木曜日 午後4:50~6:20

生花教室



毎月第3金曜日 午後1:00~3:00

パソコン教室



月・水・木・金曜日 (月曜日は午前中のみ)
午前10:00~12:00
午後1:00~3:00



スマホ講習会



総務省が推進するデジタル活用支援推進事業の研修を受講した4名の会員が講師となり、令和3年10月から市民向けに講習会を開始しています。

接遇力向上研修



ふれあい体験講座「サボテン教室」



市民の方を対象にして、サボテンと多肉植物の基礎知識と楽しみ方の講習を開催しました。

フレイル予防体操



羽村市から指導を受けた女性部会が中心となり令和2年1月から活動を開始しています。



パソコンサークル



パソコン講師育成を目的として発足。週に1回集まり、楽しく勉強をしています。

写真サークル



シルバーはむらふれあい祭りや羽村市文化祭等、年に数回作品を出展しています。

カラオケサークル



週に一度センターで楽しくカラオケを行っています。

書道サークル



和歌や漢詩を通じて、筆の運びの練習をしています。

フィールドゴルフサークル





ボランティア活動風景



登校児童見守りボランティア（地域班）



市内清掃ボランティア（地域班）



保育園ボランティア（遠藤 稔会員）



ほっとカフェボランティア（女性部会）



「まちづくり百年発祥の地記念碑」周辺及びセンター敷地内清掃等ボランティア（植木・除草・家事援助班）



設立40周年記念 被表彰者紹介

令和3年度定時総会終了後、「設立40周年記念事業(表彰式)」を行いました。当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代表者のみの出席とし、船木会長より賞状と記念品が贈られました。被表彰者は下記のとおりです。



特別表彰 安達 健吾前会長 功労者表彰 佐藤 良平理事 功労者表彰 川端 嘉明会員

被表彰者(敬称略)

(1) 特別表彰(会長及び副会長歴任者)

(元会長) 高山 繁寿 (前会長) 安達 健吾 (現会長) 船木 信雄
(元副会長) 藤谷 文康 (現副会長) 浅野 光男

(2) 功労者表彰

①役員(2期以上)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 杉浦 徹子 | 栗袋 善一 | 市川 忠 | 大久保 正 | 井上 貞義 |
| 宮寺 稔 | 鈴木 鈴子 | 佐藤 良平 | 熊井真理子 | 海道 進 |
| 齋藤 正夫 | 関谷 達夫 | 深野富士雄 | 中川 良三 | 岡上 晃輝 |
| 松本 純子 | 柿澤 登 | 島田 洋子 | 露木 諒一 | |

②地域班班長、地域連絡員、女性部会委員、安全・適正就業推進委員及び就業開拓委員 (5年以上)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 佐々木作一 | 雑賀 敏夫 | 川端 嘉明 | 田村 一二 | 馬場 勇 |
| 森谷 光義 | 結城 賢治 | 検見崎興幣 | 磯貝 充宏 | 高橋みき子 |
| 會川 一男 | 工藤 立己 | 小林美恵子 | 山崎 敏子 | 中野 森彌 |
| 対馬 紀子 | 下田宮美江 | 栗原 悦男 | 大林きく子 | 後藤 邦夫 |
| 柿沼 瑞彦 | 松本 満男 | 市川 建夫 | 福田ヒヅ子 | 羽田野克子 |
| 田中 光代 | 河合 光江 | 長田 忠彦 | 播磨 富造 | 松井 一彦 |
| 上田 啓子 | 千布 晴恵 | 鈴木登美夫 | 原田みち子 | 清原はな子 |

③多年にわたり引き続き会員である者(25年以上在籍)

鈴木 武

④最高年齢者(男女各1名)

笹路 正明 宮川千恵子

(3) 会長が表彰に値すると認め、理事会で承認された者

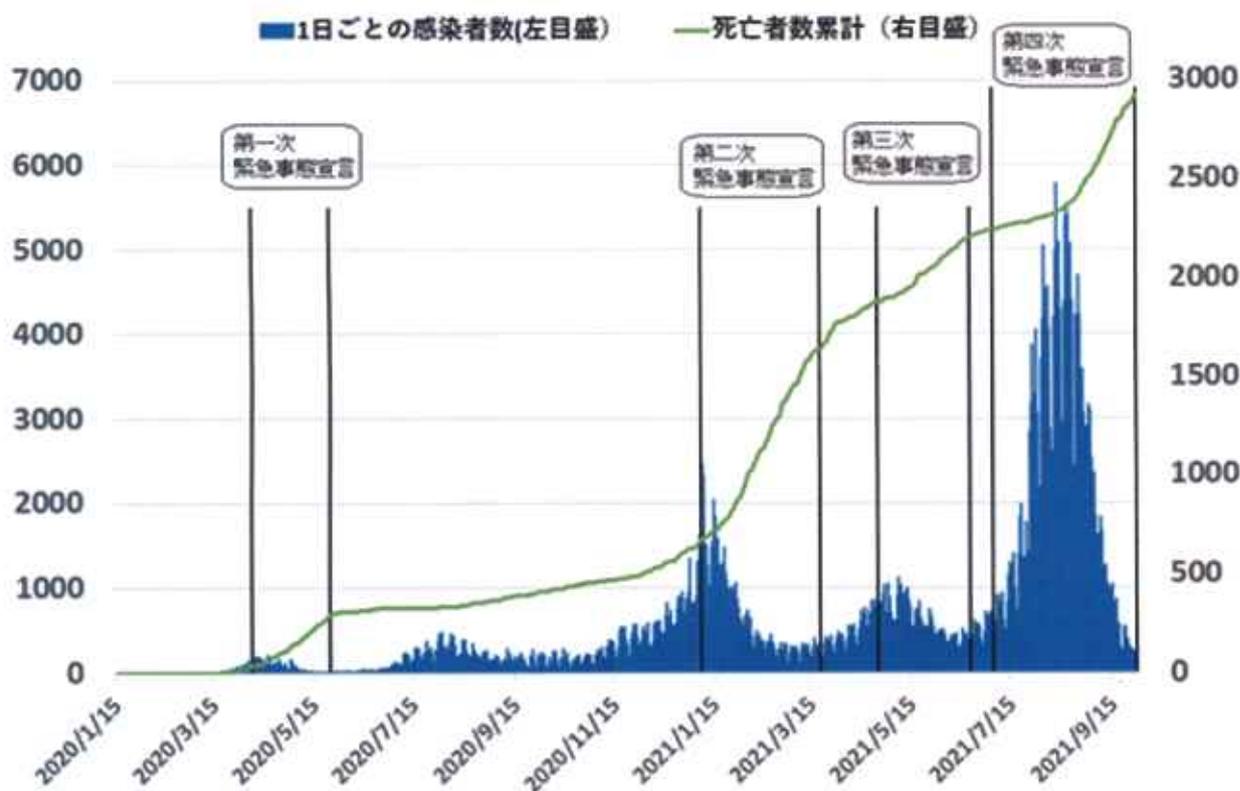
(表彰理由: 羽村市産業祭・保育園等でバルーンアートボランティア活動を通してセンターPRに寄与)
遠藤 稔

現在の状況

記念すべき40周年は、新型コロナウイルスが広がり、世界が感染の脅威にさらされる年になってしまいました。この40周年特集の編集作業を行っている時点(2021年9月30日)で感染の収束は見通せていません。WHO(世界保健機関)の統計によると、現在世界中で確認されている感染者は2億3,313万人、累計の死者数は477万人となっています。日本においては2020年4月以来、感染拡大のたびに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が繰り返されてきました。2021年7月に発生した感染拡大は特に深刻で、19の都道府県に緊急事態宣言、8つの県にまん延防止等重点措置が取られました。7月から9月にかけて開催された東京オリンピック、パラリンピックはいずれも無観客を余儀なくされました。一時は重症患者が増え続け、医療機関は切迫した状況になり、入院すべき人たちが自宅待機せざるを得ない状況も生まれました。

9月末になってようやく感染は下火となり、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置は解除となりました。ただし、再度の感染拡大については予断を許さない状況が続いています。これまでに全国の感染者の累計は170万1897人、死者の累計は1万7666人となっています。

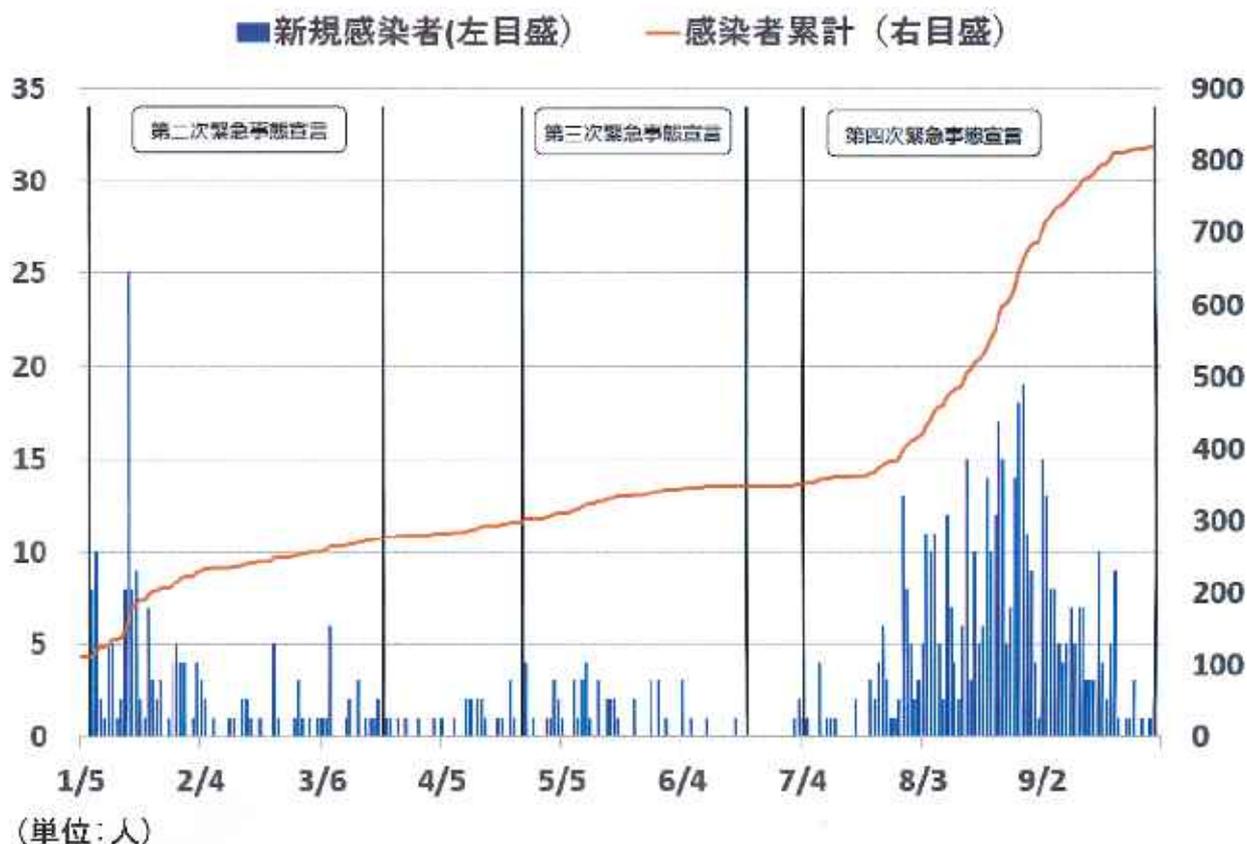
図表1は、最初の感染が確認された2020年1月16日から2021年9月30日までの東京都の1日ごとの感染者数と累計死者数のグラフです。



(単位:人)

図表1 東京都の一日ごとの感染者数と累計死者数 (情報提供: NHK)

この傾向は羽村市でも同様です。(図表 2)



図表 2 2021年羽村市の感染者の推移 (羽村市公式サイトよりグラフ化)

感染の広がりセンターの対応

2019年の冬、中国武漢市で発生した肺炎は2020年1月WHO(世界保健機関)により新型コロナウイルス(COVID-19)と確認されました。わが国では2020年1月16日、中国武漢市から帰国した男性に初めての感染が確認されました。2020年2月5日、横浜港に入港した大型クルーズ船から乗客・乗員の集団感染が発生して長い期間隔離措置が取られました。感染は市中でも徐々に拡大し、マスクや消毒薬が急激に品薄になるなど社会生活にも不安が生じてきました。シルバー人材センターの関係では、東京都の方針に従い東京しごと財団から高齢者等が参加する会議等は中止または延期するなど、感染症予防対策のガイドラインが示されました。これに伴い、当センター理事会では実施している事業をすべてリストアップし、その内容を吟味して中止・延期・実施する事業に仕分けして関係者に周知しました。その後も4度にわたる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用指定などがあり、センターではその都度臨機応変に対応し理事会で確認し、会員にも周知する対策を取りました。

目に見えないウイルスによる感染を防ぐためには「3つの密（密閉・密集・密接）」を避けることが重要とされました。センターではそのための具体的な対応のためのマニュアルを作成し、会員に対する周知徹底に努めました。センターの入り口にはアルコール消毒と体温測定器を設置し、施設の要所に消毒薬を配置しました。また、2020年5月には、需要の急激な高まりからマスクが不足する状況にあったので、独自に手当てしたマスクを急遽全会員に配布し感謝されました。

6月には、一時中断していた小学校通学児童の見守りボランティアを学校の開校に合わせ、再開いたしました。

7月には、消費減退の影響を受け、日頃お世話になっている商業施設への支援を目的に、総会記念品を羽村市商業協同組合発行の商品券とさせていただきます。



感染症対策として、非接触式体温測定器、消毒用アルコール噴射機、自動水栓、ドアノブ用のレバーをいち早く設置しました。

センターへの影響

社会全体が感染対策に軸足を移さざるを得なくなったため、シルバーの事業活動も大きな影響を受けました。公共施設の閉鎖、イベントの中止、各種教室の延期により会員の就業機会が失われることとなりました。図表3の契約減のうち約1,600万円は新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。

| コロナ前 令和元年度 (2019) | | → | コロナ後 令和2年度 (2020) | | 増減 | |
|----------------------|---------|---|----------------------|---------|----|----------|
| | (千円) | | | (千円) | | (千円) |
| 請負 | 218,298 | | 請負 | 204,258 | | △ 14,040 |
| 派遣 | 38,214 | | 派遣 | 34,667 | | △ 3,547 |
| 合計 | 256,512 | | 合計 | 238,925 | | △ 17,587 |

図表3 コロナ禍前・後の契約額の比較

また会員数が落ち込みました。

| コロナ前 令和2年(2020)3月末現在 | | コロナ後 令和3年(2021)3月末現在 | | 増減 |
|-------------------------|-----|-------------------------|-----|------|
| | | | | (人) |
| 男 | 429 | 男 | 400 | △ 29 |
| 女 | 235 | 女 | 223 | △ 12 |
| 合計 | 664 | 合計 | 623 | △ 41 |

図表 4 コロナ禍前・後の会員数の比較

会員数の減少は新規入会者を獲得できなかったことが主な原因です。

例えば：

- 毎月開催している「入会説明会」は緊急事態宣言が発令されている間は中止せざるを得なかった
- 産業祭が2年間中止となり、ブースでの展示やチラシ配布ができなかった
- 年金支給日の金融機関でのチラシ配布を感染対策で取りやめとした
- ふれあい祭りも2年間中止で地域との交流ができなかった

また、入会を考えていた方も感染を恐れて説明会への参加を見送ったことが考えられます。この傾向は現在も続いています。

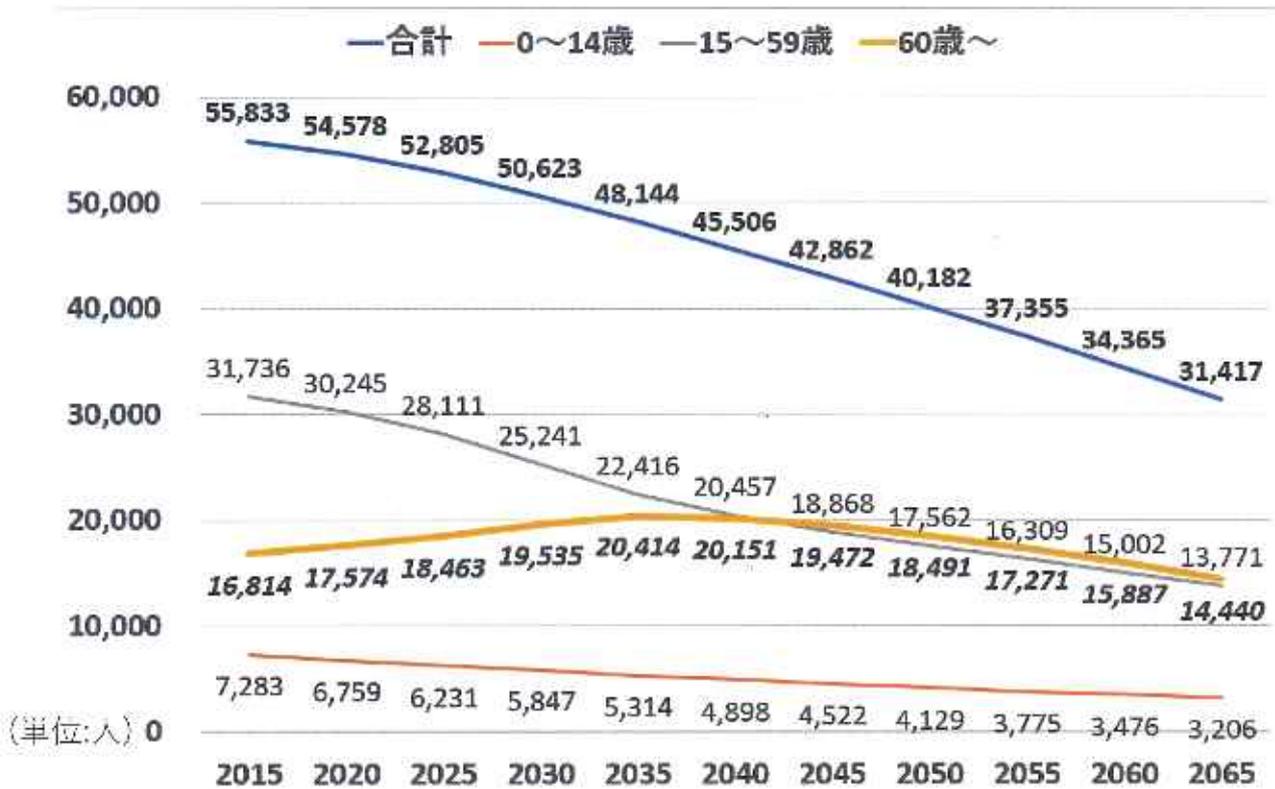
ワクチンの接種が進んでいる

他の先進国に後れを取っているとされていたワクチンの接種が進んでいます。ワクチンはメーカーの仕様に従い3-4週間をあけて2回接種する必要があります。東京都の発表では少なくとも1回接種が終わった人が人口の67.96%、そのうち2回とも接種した人が人口の57.80%となっています。羽村市では65歳以上の高齢者に対する優先接種は終了し、9月中旬からはすべての年代への接種の予約が開始されました。10月1日時点で1回接種が終わった人が68.3%、2回とも接種が完了した人が57.9%となっています。

今後ワクチンの接種が進めば次第に収束に向かうことが期待されます。しかし、感染が収束しても、そのまま元の状態に戻るかどうかは保証の限りではありません。コロナの感染を防ぐために「新しい生活様式」ということがいわれました。通勤を避けテレワークを行うこと、不要不急の外出を避け極力自宅に留まることなどが推奨されました。このような生活習慣の変化は今後の社会を変えてゆく可能性があります。

われわれはどうすべきか

シルバー人材センターの事業を支えているのは言うまでもなく会員です。そしてシルバーの事業の発展は会員数と密接な関係があります。そこで今後の羽村市の60歳以上の人口がどのようになるのかを見ておく必要があります。令和4年度から始まる「羽村市第六次長期総合計画」の基礎調査資料の中に羽村市の将来人口の推計があります。

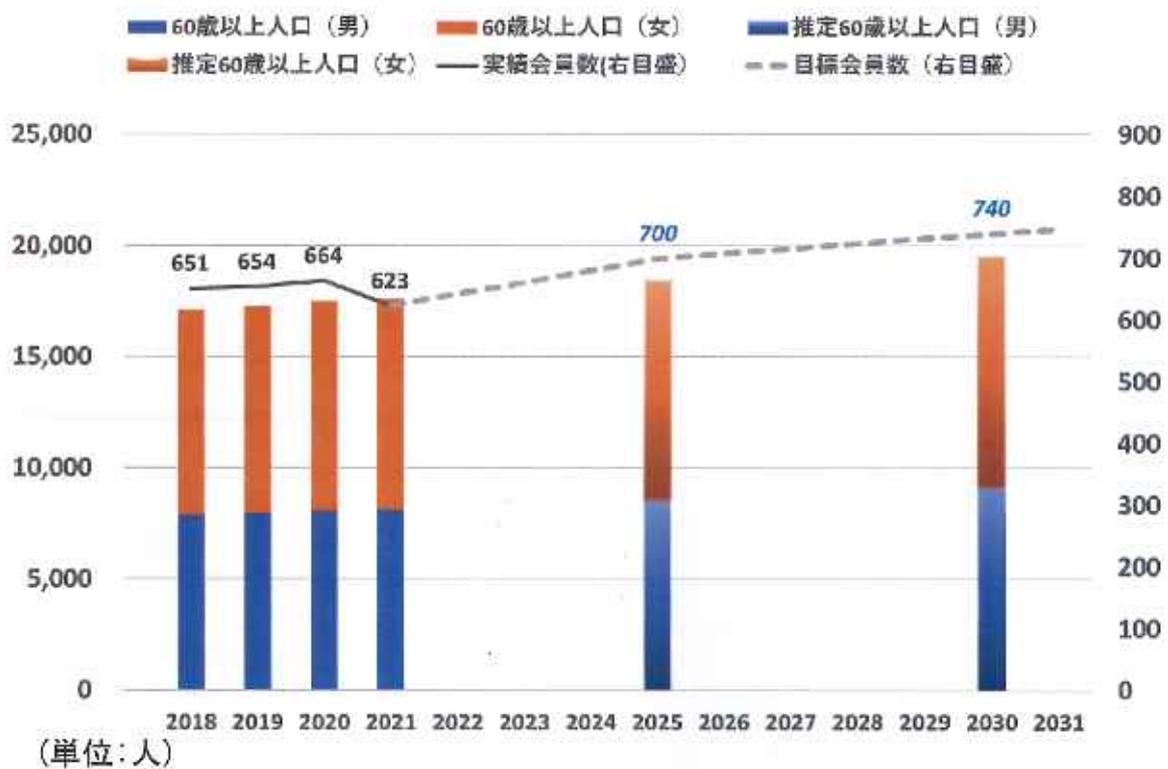


図表 5 羽村市の将来人口推計

図表5にある通り、現在5万人台の羽村市の総人口は2065年には3万人台にまで減少することが予想されています。このうち60歳以上の高齢者は2035年までは漸増し、その後は減少に転じるものと推計されています。他方、それ以下の年齢層では一貫して右肩下がりになっています。このような状況を眺めるとき、高齢者が健康年齢を維持することは極めて重要です。特にシルバーで仕事をしている多くの人々は、仕事に就くことで生活のリズムを維持し、お客様から感謝されることを生きがいとしています。単に健康を維持するだけではなく、仕事をするにより社会貢献を果たしています。シルバーの会員は誇りをもって仕事をすべきでしょう。

ところでこのような人口動態に比較して、シルバー人材センターに加入している会員数の推移はどのようになっているのでしょうか。コロナ禍以前の2019年と2020年3月までは、ほぼ人口増に比例して増加していますが、すでに述べたように2020年4月から翌年3月末にかけて新型コロナの影響で会員数は41人減少しました。これは羽村市の60歳以上の人口に対するシルバーへの加入率が3.8%から3.5%まで0.3ポイント下がったことを意味します。

感染の解消が見込まれる段階では、少なくとももとの加入率に戻すことを目指すべきでしょう。そして、これから当分の間は60歳以上の人口は増加していくわけですから、少なくとも加入率3.8%を維持して60歳以上の人口に見合った会員数の増加を目指すべきでしょう。つまり、図表6にある通り10年後の2030年に740人の会員獲得を目指すことが目標となります。



図表6 羽村市の人口推計とシルバー人材センターの会員数(実績+目標)

しかし、それだけでは十分ではありません。増えた会員に適切な就業機会をもたらし、結果としてその指標となる契約金額を増やす努力が必要です。新型コロナが社会に与えた影響は今後シルバーで働く人、シルバーに発注する仕事などに変化を生じる可能性があります。今までの傾向を単純に延長するのではなく、変化に対して機敏に反応し、臨機応変に対応する能力も求められるかもしれません。

10年後の羽村市シルバー人材センターは果たしてどうなっているか、次の世代の方々にその検証を託したいと思います。

役員紹介

公益社団法人 羽村市シルバー人材センター
令和3年度定時総会・祝設立40周年



※写真撮影にあたりマスクをはずしています。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 島田 洋子 | 羽村 嘉広 | 坂本 紀美子 | 神田 栄三郎 | 松尾 春江 | 中野 早苗 | 野村 由紀子 | 露木 諒一 | 後列(右側より) | 松本 純子 | 中川 良三 | 佐藤 良平 | 浅野 光男 | 船木 信雄 | 小机 良博 | 齋藤 正夫 | 関谷 達夫 | 森田 幸雄 | 前列(右側より) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

計 理事 15名
監事 2名

事務局 職員紹介



※写真撮影にあたりマスクをはずしています。

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 平田 晋也 | 小作 敬之 | 工藤 秀幸 | 春日 大輔 | 後列(右側より) | 原島 弓枝 | 小机 良博 | 並木 智子 | 對馬 恵美 | 前列(右側より) |
|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|----------|

編集後記

40周年おめでとうございます。

「羽村市！？それどこ？」北海道で生まれ育ち東京には何度かしか来た事がない私が羽村市の存在を知った第一声でした。その4年後の平成29年に嫁夫婦の仕事の関係で羽村市に住む事になるなんて夢にも思いませんでした。住んでみると緑も多いし、ご近所の方も良い人で、暮らしやすいところでした。

シルバー人材センターの会員になって2年半、そんな若輩者の私が40周年という節目の年に広報部会として、この記念号に携わる事ができてシルバー人材センターの歴史や活動等知る事ができ大変光栄に思います。このような貴重な機会を与えてくださった、いつも穏やかで的確な進行をしてくださる頼もしい関谷部会長、明るく優しく色々気遣ってくださる松本委員、好奇心旺盛で物事の見方・考え方に気付かせてくれた神田委員、そんな私達の意見等を顔色一つ変えずに淡々とまとめてくださる平田さん。そんな広報部会の皆様に感謝します。今後も45年、50年と限りなく続いていくことをご祈念申し上げます。

(広報部会 坂本紀美子)